

2021年に文学賞を受賞した本



\*第55回吉川英治文学賞  
「嵐よあらしよ」  
村山 由佳／著



\*第28回松本清張賞  
「万事快調（オールグリーンズ）」  
波木 銅／著



\*第165回直木賞  
\*第34回山本周五郎賞  
「テスカトリポカ」  
佐藤 究／著

服従するな。立ち上がれ。婦人解放運動家・伊藤野枝。明治・大正を駆け抜けた彼女の短くも鮮烈な生涯を描く。史実をもとにしたフィクション。「小説すばる」連載を加筆・修正し単行本化。

著者の村山由佳氏は、1964年東京都生まれ。立教大学文学部卒。会社勤務などを経て作家デビュー。「天使の卵」で小説すばる新人賞、「星々の舟」で直木賞を受賞。

茨城のどん詰まり、底辺工業高校には噂がある。表向きは園芸同好会だが、その実態は犯罪クラブ。メンバーは3人の女子高生。彼女たちが学校の屋上で育てるのは、植物は植物でも大麻だった！

著者の波木銅氏は、1999年茨城県生まれ。「万事快調」で第28回松本清張賞を受賞しデビュー。

メキシコの麻薬密売人バルミロと臓器売買コーディネーターの末永は、新たな闇ビジネスを実現させるため日本へ向かう。少年コシモは知らぬ間に彼らの犯罪に巻き込まれ……。『カドブンノベル』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

著者の佐藤究氏は1977年福岡県生まれ。「QJKJQ」で江戸川乱歩賞、「Ank: a mirroring ape」で大藪春彦賞、吉川英治文学新人賞を受賞。

11月の催しもの

とき	催しもの
1・8・15・22・29日(月)	午前11時～ あかちゃん絵本 よみかかせ会

- ◆不用図書の無料配布 11月20日(土)からなくなり次第終了(1人8冊まで)
- ◆展示会 遊心書道会「第61回遊心全国書道展覧会」  
11月8日(月)～11月14日(日)  
\*火曜日は休館日
- ◆第37回ふそう美術展  
会期:11月20日(土)～11月28日(日)  
午前10時～午後5時  
\*火曜日は休館日  
\*22日(月)は扶桑文化会館のみ休館  
会場:扶桑町図書館(2階ギャラリー・学習室・会議室)  
扶桑文化会館(1階展示室・ロビー)

その他の本

- ◆第165回直木賞  
「星落ちて、なお」 澤田 瞳子／著
- ◆第64回群像新人文学賞、第165回芥川賞  
「貝に続く場所にて」 石沢 麻依／著
- ◆第16回中央公論文芸賞、第27回島清恋愛文学賞  
「自転しながら公転する」 山本 文緒／著
- ◆第23回大藪春彦賞、  
第74回日本推理作家協会賞長編および連作短編集部門  
「インビジブル」 坂上 泉／著
- ◆2021年本屋大賞  
「52ヘルツのクジラたち」 町田 そのこ／著
- ◆第34回三島由紀夫賞  
「旅する練習」 乗代 雄介／著
- ◆第10回本屋が選ぶ時代小説大賞、第40回新田次郎文学賞  
「商う狼～江戸商人杉本茂十郎～」 永井 紗耶子／著

俳句

「冬近し」

ふそう俳句会

夕日浴ぶ阿吽の仁王冬近し  
露寒や夕餉の粥に卵溶く  
晩秋の空に構へてスマホ撮る

近藤 喜山  
伊藤美保子  
一色 無音

川柳

扶桑川柳クラブ

ゲリラ雨ビニール傘がよく売れる  
天高し山から里へ裾模様  
さか上がり両足高く空へ跳べ

谷口 妙子  
大西 陽子  
高野瀬徳子

短歌

「バラの選手」

ふそう短歌会

ハンデイ飛ばすバラの選手ら朗らなり

五体満足は不慎重む

小野寺紀美代

次つぎと変異株増す分り得ず

九十三歳ただ惑うのみ

吉村 昌子

気づかずに文化国家の日本に

生きる幸せコロナ禍に知る

近藤寿美代

詩吟

「正風流五十周年記念詩」

平林 摂峰

創始茲に迎う五十霜 親朋四集して祝吟揚る

更に祈る万歳正風の会 遼遠たる前途瑞祥を期す

「意」 正風流の吟の道を先代が始められてから五十年の長い歳月がたち、今日ここに吟会の先生方をはじめ熱心な会員一同の集まりとなり賑やかに祝いの会が盛り上がった。これからも今日以上に正風流のいやさかを祈る。然しこの道の歩む先は遙かに遠く厳しく難しい。くじけず、負けずに前向きに突き進むことを祈る。(令和三年現在、七十周年)

正風流二代目家元 山内 正風